

本文章は、日本共産党岡山市議団で文字起こししたものです。岡山市議会ホームページで後日公開される正式な議事録を、必ずご確認ください。

(岡山市議会ホームページ <https://www.city.okayama.jp/gikai/index.html>)

質問の様子は動画で見ることができます。

(岡山市議会インターネット議会中継 <https://okayama.media-streaming.jp/recording/meeting/>)

●で挟まれた語は、十分聞き取れず、文字起こしとして未確定のものです。

令和7年6月定例議会 一般質問 田中のぞみ(2025.6.18)

◎田中のぞみ議員

日本共産党市議団の田中のぞみです。

それでは早速、通告に従いまして質問に入らせていただきます。

1、物価高騰対策と暮らし支援について。

物価高騰が長引く中で私たち日本共産党は、全国で暮らしのアンケート対話を進めてきました。性別、年代問わず切実な声が本当にたくさん届いております。政治が今優先して果たすべき責任、役割は本当に大きいはずだと思っています。

まず、(1)子育て支援に関わって。

「子育てすることが罰ゲームのようだ」という声がありショックでした。実質賃金は1996年をピークに、年収ベースで74万円も減っているのが現状です。今日お手元の資料9ちょっと飛びますが、示させていただいております。さらに3年連続実質賃金下がったという報道がありました。この失われた30年で、教育費や学費は上がり続け、若者たちが背負わされている奨学金という借金の総額は10兆円に上り、この30年で7倍にも増えました。生活費が急激に高騰する今日、食べ盛りの子どもにまで我慢をさせなければならない、未成年が多額の借金を負わなければ教育が受けられない、子育てすることが苦しい。こんな国では少子化を打開する未来は見えません。

自治体でもできることを率先して取り組むことを求めます。

ア、高校生への支援について。

授業料の紹介が順次スタートしていますが、授業料以外に必要な費用がかなりあります。文科省の「令和5年度子供の学習費調査」では、授業料以外に公立で30万円、私立で約53万円かかるということです。特に入学時には多額の費用が必要となります。例えば入学金は7万円、制服14万円、教育充実費9万円にタブレットが8万円です。双子や3つ子になると本当に厳しい状況です。また通信制の高校が増えておりますが、費用は高く、躊躇するケースもあります。

(ア) 質問です。高校入学時に間に合う支援制度はありますか。

(イ) 保育料無償化で浮いた当時約15億円の一部を財源に創設された岡山市の給付型奨学金について、申請が7月からである理由、通信制と全日制で支給額を分けている理由、利用実績が伸び悩んでいる理由をお示しください。給付時期を早める工夫ができないか、例えば中学校で就学援助

を受けている世帯を対象とした枠を創設するなど、制度拡充を検討していただけないか、ご所見を伺います。

(ウ) と (エ) は割愛します。

イ、学校給食について。

この春、岡山市の小中学校の給食費は値上げをされました。これまで保護者負担軽減のための補助を6回ほどしてきましたけれども、令和7年度の負担軽減の予算は、お米の高騰分を対象としたということで9,000万円。過去、この時期では最初でした。質問です。

(ア) 保護者負担軽減は重要と市長答弁もありましたが、なぜ値上げに踏み切ったのか理由をお示しください。併せて2020年と比べた1食当たりの経費、保護者負担額を小中学校でそれぞれお示しください。また、負担軽減のための年間支援総額の燃料費を除く推移をお示しください。

(イ) 割愛します。

(ウ) 給食の質についてお伺いします。品目数や献立について、年々少なくなっているとの指摘があります。例えばフルーツ、果物が提供される頻度が極端に減っています。ここ数年の傾向について認識をお示しください。

今日、お手元の資料1ですけれども、過去の実績を調べてみました。品目数が減っているのはこの下側で分かるかと思います。はい。

(エ)、岡山市では、現在給食費に係る費用の政令市比較調査を行っています。改めてお伺いしますが、目的はコスト削減でしょうか。

保護者負担を低く抑えている他市の給食がメディアで取り上げられていました。おかしな唐揚げ1つで、以前からのメニューとの衝撃的な内容でした。不安が広がっています。まずご感想を伺います。

物価高騰の中で現場のやりくりは限界だと報道もあります。来年から国の無償化が始まるとされる中、岡山市が目指す給食のあり方とはどんな姿でしょうか、お考えをお聞かせください。

(オ)、米問題も深刻な問題提起となりました。岡山市の農業従事者の平均年齢は約70歳です。直ちに手を打たなければ、10年後は本当に大変です。米農家にとっては時給10円とも言われる状況を打開しなければ、希望はありません。

私たちが直接できることは食べて応援することです。毎日5万3,000食を提供する学校給食こそ、地産地消を命題と掲げ、地場農業支援という視点から学校給食への予算化を求めます。地産地消推進費はね今年1,000万円ぐらいでしたから、このことになります。農林水産部門のご所見を伺います。

あわせて国のガイドラインが大切とする食材選定、献立のためではありません、食材選定のための委員会設置などを検討しませんか。

(2)、市民の暮らし支援に関わって。

ア、今こそ消費税減税、そして廃止への声を。

37年前に消費税が導入されてから、ずっと経済は停滞をしています。この間国民から徴収した消費税の総額は571兆円。同じ時期に、大企業への法人税などを減税した総額は605兆円だそうです。国は、財源を法人税から消費税に置き換えたと言えます。今日お手元に「しんぶん赤旗」の記事、一部抜粋をしておりますが、資料5、6、7、8です。ぜひ、見ていただきたいと思います。はい。

財源置き換えてきたならば、これを逆転させれば消費税減税も廃止●が●可能というわけです。

理論上は可能です。さらに消費税は低所得者こそ負担割合が高い、最も不平等な税だという指摘があります。これらの指摘について、市のご所見を伺います。

イ、生活保護申請に住所は●必要●か。

生活保護の相談も増えています。住所がなく知人宅に身を寄せているような場合、生活保護の申請の相談に行くと、住所がなければ申請できないと迫り返された事例が複数あります。申請できるはずですが。生活保護上の規定と、岡山市の窓口マニュアルではどうなっているのか、改善点がないのかお尋ねします。

ウ、水道料金引き下げを。

東京都が水道料金基本料を無料にするという報道がありました。県内自治体でも取り組むところが出ています。一方で岡山市は、来年4月から、2段階目の水道料金引き上げの予定です。この間財政状況に変化はなかったのか、物価高騰の状況が続いても値上げを決行するのか、具体的にどのような中身となるのか改めてお示してください。

エ、障害者体育センターにクーラー設置を。

障害者スポーツの拠点ではありますが、クーラーが設置をされておられません。ただでさえ体温調節が難しい方々が集う場所で、命に関わると思います。今日資料の10、11で、どういう施設かということお示しをさせていただいております。同じアリーナでもね、大きな違いがあります。市長見といてくださいよ、資料10ね、聞こえてますか。はい。

直ちに設置するべきだと考えますが、何か理由がありますでしょうか。設置予定はありますか。よろしく願います。

◎小林芳由財政局長

1、物価高騰対策と暮らし支援についての項、(2)市民の暮らし支援に関わってのうち、ア、消費税についてのお尋ねです。

消費税につきましては、国において経済活動の動向や社会情勢を踏まえて議論し、適切に対応されるべきものであると認識しているため、市として所見を申し上げることは差し控えたいと思います。

◎西謙一保健福祉局長

同じ項、(2)市民の暮らし支援に関わって、イ、生活保護申請に住所は必須か、生活保護上の規定と窓口マニュアルではどうなっているのか、改善点はないかについてです。

生活保護法及び関係通知では居所がなくても申請は可能であり、申請者が居所を確保したことの確認を含め必要な調査を実施した後、生活保護の開始決定を行うこととされております。当該事務につきましては、国の実施要領等に基づいて実施しており、市独自の窓口マニュアルは作成しておりません。

今後とも、生活保護を申請する意思のある方が申請権を侵害されたとと思われることのないよう、法の趣旨の理解をさらに深め、制度の適正な実施を確保してまいります。

次に、エ、障害者体育センターにクーラーがない理由と設置予定についてです。

障害者体育センターの空調設備の設置につきましては、あわせて断熱工事についても検討を行う必要があることなどから、多額の費用とその財源確保が課題となっております。

空調設備を直ちに設置する予定はございませんが、すでにスポットクーラーを設置しており、それに加えて、更衣室や休憩室の空調とあわせて利用を工夫するなど、熱中症対策に努めているところでございます。

◎榎並義忠岡山っ子育成局長

同じ項、(1) 子育て支援に関わって、ア、高校生への支援について順次お答えします。

まず、(ア)、高校入学時に間に合う支援制度についてです。高校入学時の制度として、ひとり親世帯を対象に、就学支度資金を無利子で貸し付けする「母子父子寡婦福祉資金貸付制度」があります。また、低所得世帯に対しては、社会福祉協議会が就学支度費を無利子で貸し付けする「生活福祉資金貸付制度」があります。

次に、(イ)、申請が7月からの理由、通信制と全日制で支給額を分けている理由についてです。岡山市給付型奨学金の支給には、保護者の市民税所得割額が0円であるという要件があり、税証明の交付開始が6月頃であることに加えて、申請者の利便性を考慮し、県の教育給付金の申請時期と同じ7月としています。また、通信制の支給額は制服の費用を除いた形で算定しており、全日制と支給額が異なっております。

次に、利用実績が伸び悩んでいる理由、給付時期を早める制度拡充についてです。利用人数は令和2年の851人から令和6年の1132人と約3割増加しておりますが、対象となる市民税所得割非課税世帯の高校生に対する支給割合は、最も高い令和5年で48.7%でした。

本制度の周知については、児童扶養手当の受給者や県内の高校、市内の中学3年生に、募集要項やチラシを配布しています。そのほかホームページや「おかやま親子応援メール」の活用など周知に努めているところですが、現在の利用実績となっている明確な理由は把握できておりません。

給付時期を早める制度拡充については、今後何ができるか考えてまいりたいと考えております。

◎林原瑞気産業政策担当局長

同じ項、イ、学校給食について、(オ)、農林水産部門で地場農業支援のための学校給食への予算化をしてはどうかについてお答えいたします。学校給食法において学校給食に地場産農産物の活用を努めることとされていますが、現在、岡山市の学校給食では、岡山県産食材の使用割合が約6割とお聞きしており、このことは、地場農業の支援に繋がっているものと考えております。

現在、学校給食の食材調達は、農家から直接仕入れるスキームになっておらず、直接的な農家への支援が難しいことから、農林水産部門としては、引き続き、農家の経営安定や生産性の向上に資する施策を進めることで、農家の支援を行ってまいりたいと考えております。

◎栗原諭水道事業管理者

同じ項、(2) 市民の暮らし支援に関わってのうち、ウ、水道料金の引き下げをについて、令和8年4月の2段階目の水道料金改定をするのか、その内容、また財政状況についてお答えします。

財政状況については、令和6年4月に平均15.7%の料金改定を行ったことにより、令和6年度の給水収益の見込みが約141億1,000万円、料金改定時に試算した見込み額は140億9,000万円で、ほぼ同額となっております。

安全安心な水道水を安定的に供給していくためには、老朽化した施設の更新と耐震化が急務であ

り、健全な事業運営を行う上で、令和 5 年 11 月定例会市議会で議決いただいた通り、令和 8 年 4 月の改定は予定通り必要だと考えております。

令和 8 年 4 月の改定内容は、現時点の料金を基準にすると平均 3.8%の改定になります。一般家庭 3 人から 4 人世帯を想定したケースとして、水道メーターの合計が 13mm で 1 ヶ月 20 m³ 使用した場合、消費税抜きで 80 円の改定となります。

◎三宅泰司教育長

同じ項、(1) 子育て支援に関わってのうち、イ、学校給食について、(ア) 値上げの理由、1 食当たりの経費と保護者負担額、支援総額の推移のお尋ねです。

学校給食費は保護者負担が原則とされており、近年、食材価格が上昇する中でも栄養価を確保した給食を提供していくため、給食費は毎年上昇傾向にあります。保護者負担の軽減を図るため、献立や使用食材の工夫と、急激な食材費の高騰に対しては国の臨時交付金を活用した支援を行っております。

次に、令和 2 年度の 1 人 1 食当たりの食材経費の実績額は、小学校が平均 274 円、中学校が平均 328 円で、保護者負担額は同額となっております。令和 6 年度は食材経費が小学校 338 円、中学校 408 円、保護者負担額が小学校 318 円、中学校 377 円となっております。

また、令和 4 年度から 6 年度は、国の臨時交付金を活用して年度途中での主食を含む食材費の高騰分について支援を行っており、その総額は、令和 4 年度は燃料費等食材費以外の経費を含めて約 2 億 2,000 万円、令和 5 年度 6 年度は食材費としてそれぞれ約 2 億 7,000 万円、約 2 億 2,000 万円となっております。

次に、(ウ) 給食の品目数や献立について、ここ数年の傾向についてです。近年物価が高騰する中、高価格で推移している食材は使いづらい状況となっております。そうした状況においても、各食材の価格を常に注視しながら、適宜献立の見直しや使用食材を工夫しており、1 年間を通じて見た場合には、今まで同様、多種多様な食材を使用したものとなるように努めてまいりたいと考えております。

次に、(エ) 政令市比較調査の目的はコスト削減か、メディアで取り上げられた他市の給食についての感想、岡山市が目指す給食のあり方とはどんな姿かとお尋ねです。

指定都市の給食比較につきましては、他都市との差異を確認して、要因分析をすることで、保護者負担の軽減を図ることを目的とするものです。

議員ご指摘のメディアでの報道への感想については、物価高騰が続く中、栄養価を確保しつつ、いかに保護者負担を抑制していけるかについて、多くの自治体が日々試行錯誤しながら取り組まれているのだと感じました。

岡山市が目指す給食のあり方については、二嶋議員にご答弁（※）した通りです。

次に、(オ) 食材選定のための委員会設置についてです。議員ご指摘の文部科学省の「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」に記されている食材選定のための委員会につきましては、岡山市学校給食基本献立委員会において、栄養教諭、保護者、その他の関係者から食材選定の意見を聞いているところです。

◎田中のぞみ議員

もう学校給食です。時間がありませんのでいきますが、必要な栄養素を確保している、今まで同様に多種多様な食材を確保している。していません、なっていません。

資料1にお示ししました。この間市が行ってきた物価高騰対策よりはるかに上回って、現場ではとても影響が出ていました。聞いてきました。「物価高騰が始まって食材が明らかに減らされている」「お味噌汁にネギなど青みがなくなった」「具沢山お汁はすかすかで、下の方からすくわないと具が入らない」「野菜スープのじゃがいもだけ半分の量だったので、赤いにんじんスープになった」「中華風和え物が、キャベツ、きゅうり、きくらげの胡麻和えだったものが、今ではジャガイモとモヤシになっている」「果物は2学期から目立って減ってきた」「どうやって盛りつけようか毎回毎回悩んでいる」

実際に調べた結果が資料1と2です。野菜の種類は昨年度から30種類をずっと切っている、水産物はもう4種類しかありません。果物に至っては4月5月6月ずっとゼロ、ゼロです。

今、献立の自由度はほぼゼロだそうです。平成の時代は週に1回に自由献立もありました。今、「半年かけて食育の授業を行って6年生が考えたメニューを3学期に実施しようとしたら、お金がないということで却下された」「子どもたちに大人気の揚げパンに加工する変更希望は、その理由では認められないということで却下された、もう二度と給食に揚げパンを出すことができないのではないか」と嘆いておられました。

もう1つ気になったのは公会計化以降野菜の質が一気に落ちたということでした。腐っていたこともあったそうです。これが今の実態だと思います。

まず教育長にご認識を伺いますが、まず実態調査をしていただきたい。国に無償化に際してこの現状を伝えていってほしいと思いますが、まずお伺いします。

◎三宅泰司教育長

まず、このカロリーについてですが、まずは文科省の基準についてです。これについては、平均カロリーについて令和3年度から下がってると思いますが、これについては厚生労働省が示す食品成分表の数値を更新されました。全体的にカロリーがその時下がりました。それもあって国の方からは、この基準値についてはあくまで目安であって、弾力的に運用することというのが、まずは通知が来ております。その中で650に足りてないということが起きているのは事実だと思います。

ただ、これは国に確認しましたが、弾力的な誤差の中ということになりますが、この田中議員作成の4月のものなのですが、我々も急ぎ検討、依頼しております●して、いま●資料が来ましたが、4月の月平均カロリーは我々では601キロカロリー。その誤差の要因はですが、4月の給食提供回数は19です。20で割っているために、570になったのではないかと推測されるということが、●今資料として来て●おります。

我々としては以前から申し上げてる通りで、カロリーは足りるものを提供していくという考えでいこうと思います。

ただ、現場、これは教室ですが、教室で起きていることとして、体格の大きい者小さい者、当然あります。で、何が起きてるかという、配膳をした後、おかわりをするもの、減らすもの、昨日松本議員の答弁でも申し上げましたが、今は本当に必要な栄養素とって欲しいんですが、教室で起きていることについては、我々としたら食べることが非常に体の成長に良いということを伝えながら、全部給食を食べてもらうということを一方ではやらないといけないと思っております。

その両面で今後も進めてまいりたいと思っております。

◎田中のぞみ議員

4月が600カロリーね、いいですけども、文科省がやってる650キロカロリー、通知には、児童生徒の健康推進及び食育の推進を図るために望ましい栄養値を算出したものである、全国の平均値であるということでした。

日本栄養士会は2023年に出している留意点という文章において、8歳の一般的な男の子の算出を新たな基準においてやってます。8歳の男の子に必要なカロリーは680だそうです。十分、650でも●高い●わけではありませんので、先ほど、私は聞きました。この実態について国に意見をちゃんと述べてほしい。国の無償化に対してね、どこを基準にするかは大事ですから、それについては答弁ください。

◎三宅泰司教育長

国への要望については、政令市になってから教育長が単独で文科省に要望に行かしていただいて、私も3年目ですが、この7月にまた3回目行かしていただきます。毎回、給食費の無償化についても担当課長と議論をさせていただいております。その中で今課題になっている部分、議論になった部分は伝えていって、国に対して適切な対応をしていただけるように、無償化が実施されても制度設計が我々困らないものになるように伝えていきたいと考えております。

◎田中のぞみ議員

無償化にかかわらず岡山市がどういう給食を提供していくか、大変これから問われています。安ければいいわけではありません。何を基準にされますか。

◎三宅泰司教育長

昨日も申し上げましたが、バランスの良い栄養価、そして体が成長するに足るカロリー、そういったことは守っていききたいのと、やはり子どもが食べようと思えるもの、そういったものも提供していきたいと思います。

で、確かに自由献立が減ったので、子どもたちが希望するものがなかなか食べれてないことは事実だと思います。そのあたりは、どういったことができるか、子どもの好きな給食を時には提供するという必要だと思いますので、何か工夫できることはしていこうと考えます。

◎田中のぞみ議員

見える基準を示してください。650を基準にしませんか。

◎三宅泰司教育長

我々、文科省が言われてる通り、650が出ておりますが弾力的に運用できるという部分で、その範囲をどこまでかっているところはみないといけないと思いますので、このカロリーについては注視していきたいと思います。

◎田中のぞみ議員

市長、安ければいいってわけじゃないからしっかり基準を見える化して欲しいのと、検討委員会を生産者を入れた、食材の検討委員会もつくって欲しいと思います。所見があればお願いしたいです。

◎大森雅夫市長

なかなか滑らかな口調でのお話でありましたけれども、いま田中議員が話をされたように、我々としてはこの給食費について、まあ私が最初に気が付いたのは共産党の宿女議員の質問の中で、岡山の給食費の単価が他都市に比べて高いという事実であったわけであります。これが一体、何に基づいてこうなってるのか、そういうまずは分析をしなければならないということでやりました。

そして今は、何て言いますか、政令指定都市の中で、それぞれがみんないろいろなことを考えて、栄養価のことも考えた上で、単価を出している。そういう中でいけばですね、我々も、何か無駄があるんじゃないか、そういったことも整理をしながら、保護者負担をできるだけ減らしていこうと、そういう観点で今やっているとあります。

この議会でも申し上げたように、この栄養価をいたずらに落としてこの給食費を下げようと言ってるわけではありません。

従って、今のやりとり、栄養価 600 キロカロリーがいいのか 650 がいいのか、私にはその文科省の基準を見たことはありませんし、よく分からないところがありますが、子どもたちにとって必要なカロリーを摂取できるように、そういう前提で議論をしていきたいと思っております。

それが必要なプロセス、今、委員会等々の話をおっしゃいましたけれども、何が 필요한のかは教育委員会とも相談しながらやっていきたいと思っております。

※1（1）（エ）の質問のうち「岡山市が目指す給食のあり方については、二嶋議員にご答弁した通りです」との答弁に関して、元の質問と答弁は以下。

◎二嶋宣人議員（6/16）

1（8）無償化や価格抑制が進む中でも、給食の栄養安全、食文化の質をどのように担保していくのか、市の基本方針をお示してください。

◎三宅泰司教育長

次に給食の質をどのように担保していくか、市の基本方針を示せとのお尋ねです。

学校給食は、成長期にあたる児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安全で豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、食文化や地産地消などに触れ合い、食育を効果的に進めるための重要な役割を担っております。また何よ

り、友人や教諭らと一緒に楽しみながら食べる学校給食の時間は、子どもたちにとってかけがえのない大切な時間です。

物価高騰の状況ではありますが、栄養基準に基づいて必要な栄養価は確保できるようにして、子どもたちにとってよりよい学校給食となるよう努めてまいりたいと考えております。